ITOCHU ENEX
TEAM IMPUL

Race Report

2018 SUPER FORMULA Round 5
2018.8.18 sat ～ 19 sun

HOSHINO RACING

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

チームの総力を結集し、平川が殊勲の2位

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

No.19 関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

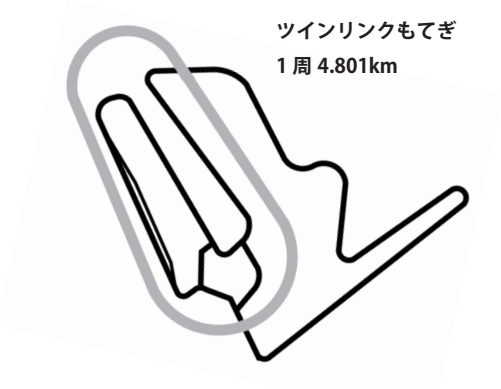
No.20 平川 亮 Ryo Hirakawa

8/18(土)公式予選　天候：晴れ　コース：ドライ

気温／路面温度：Q1開始32℃／42℃

全日本スーパーフォーミュラ選手権第5戦、「ツインリンクもてぎ2&4レース」が、栃木県のツインリンクもてぎで開催されました。前戦を終えた時点で、ITOCHU ENEX TEAM IMPULはNo.19関口雄飛がポイントランキング4位、No.20平川亮が8位に着けています。

予選は快晴、決勝は薄曇りと天候にも恵まれ、立秋の時期とはいえ気温30℃を超える真夏日となりました。サマーシーズンを締めくくるのにふさわしい天候です。今回は国内最速のバイクレース、JSB1000クラスと併催されたこともあって、サーキットは両日ともに多くのファンが集まりました。



予選日は朝から雲が少なく青空が広がります。フリー走行が始まった9時40分の気温は26℃と涼しく感じるものでした。しかしそれから夏の日差しが容赦なくふりそそぎ、公式予選が始まる14時30分には32℃にまで上昇します。

予選は通常通りノックアウト方式のQ1～Q3で争われました。20分間のQ1では、出走全19台から14台にしぼられます。予定通り、14時30分にスタートしました。

セッションが始まると各車が一斉にコースイン。ITOCHU ENEX TEAM IMPULの2台もNo.19の関口雄飛、No.20の平川亮と続けてコースに入りました。スーパーフォーミュラではタイヤウォーマーの使用が禁止されていることに加え、Q1ではミディアムタイヤを装着することが義務付けられているため、コース上でしっかりとタイヤを温めます。残り時間14分ぐらいから、各チームとも最初のアタックに入りました。そして関口が1'33.876の6番手、平川は1'33.853で5番手のタイムをマーク。一旦ピットに戻り、2セット目のミディアムタイヤに履きかえ、次のアタックに備えます。

残り時間7分となったところでITOCHU ENEX TEAM IMPUL再び動き出します。まずはNo.19関口が、30秒ほどあいだを開けてNo.20平川がコースに入ります。きちんとタイヤを温めてから、2度目のアタック！ チェッカーフラッグを受けながら刻んだ関口のタイムは1'33.814。タイムアップはしたのですが、満足のゆくものとは程遠く、16位に終わりQ2進出はなりませんでした。しかしその約30秒後、チェッカーを受けた平川のタイムは1'32.751！ 1秒以上もタイムを縮め、2番手でQ2進出を果たします。

10分のインターバルをはさみ、ソフトタイヤに履き替えて迎えたQ2。14台から8台へと絞り込みます。Q2は7分間。セッションがスタートすると平川はすぐにコースインします。セッションタイム残り1分。平川のアタックラップのタイムは1'32.033ときっちりとQ1のタイムを縮め暫定で3番手のタイムをマークました。しかし、その後チェッカーフラッグを受けた各車が次々に1分31秒台をマークし、8番手までを占めてしまいます。平川は9位となり、惜しくもQ3進出はなりませんでした。

予選終了後、チームはピットストップのタイミングなどのレース戦略を綿密に話し合い、翌日の決勝での挽回を期します。

8/19（日）決勝

天候：曇り　コース：ドライ
気温／路面温度：30℃／42℃
決勝レース距離4.801km×52Laps=249.652km

決勝日の空は薄い雲が広がった曇り。F3の決勝レースが8時25分にスタートし、ツインリンクもてぎは朝一番からレースに染まります。JSB1000のフリー走行後には前戦の富士と同じく、来シーズンから導入される新型シャシー「ダラーラSF19」のデモンストレーション走行が行なわれ、ファンを盛り上げました。そして午後。JSB1000が二輪の国内最速レースを見せると、四輪の国内最速レースであるスーパーフォーミュラの決勝に向けて観衆も期待感が高まります。

定刻通り、決勝レースは14時15分にフォーメーションラップが開始。ITOCHU ENEX TEAM IMPULはNo.20平川亮が9番グリッドから、No.19関口雄飛は16番グリッドから巻き返しを図ります。両者ともにソフトタイヤを選択しました。全車が再びグリッドに着いた14時18分57秒、シグナルがブラックアウトしてレースがスタート！

平川はスタートでNo.17塚越広大選手（REAL RACING）の前に出たかと思うと、ヘアピンでNo.4山下健太選手（KONDO RACING）をインからかわし、オープニングラップで7位となって2ポジションアップ。続く2周目の3コーナーではNo.3ニック・キャシディ選手（KONDO RACING）のインに飛びこんで6位。3周目も3コーナーでNo.16山本尚貴選手（TEAM MUGEN）のインを差して5位。4周目、90度コーナーの出口でNo.64ナレイン・カーティケヤン選手（TCS NAKAJIMA RACING）の右に並んだかと思うと、続く11コーナーでアウトからかぶせて前に出て4位！ なんと4周連続でオーバーテイクするという離れ業を見せました。しかもこのショーはまだまだ終わりません。

6周目にはNo.5野尻智紀選手（DOCOMO TEAM DANDELION RACING）の真後ろに張りついてテールトゥノーズ。7周目のダウンヒルストレートから最終のヴィクトリーコーナーにかけては2台ともオーバーテイクボタンを使いながらのつばぜり合いを見せ、8周目に入った1コーナーで平川がズバッとインに飛びこんで3位に浮上します。観客が平川の見せる怒涛の走りに見惚れているあいだ、後方では関口もスタートからポジションを上げ、9周目の90度コーナーではNo.4山下選手のインを差して10位にまで上がってきました。

レースが10周目に入ったあたりから、タイヤ交換のためピットインをするチームが出てきました。平川はペースを緩めず、12周目には前をゆくNo.1石浦宏明選手（JMS P.MU/CERUMO・INGING）に追いつき、13周目にはトップのNo.6松下信治選手（DOCOMO TEAM DANDELION RACING）との三つ巴の争いにまで持ち込みます。しかしさすがに上位2台は簡単には抜かせてくれません。平川は3位のまま15周目にピットに入り、ソフトからソフトへのタイヤ交換と給油をしました。9番グリッドから勝つための、2ストップ作戦です。

平川は12.8秒でピットアウトし、関口よりも後方の13位にまで順位を下げます。しかし平川の集中力はさらに研ぎ澄まされ、再び追い上げ劇を開始しました。17周目の90度コーナーで2台をパスし、No.64カーティケヤン選手がピットインしたこともあって10位にジャンプアップ。関口も7位へとポジションを上げました。20周目、平川はさらに1台をパスして9位。飛ばしに飛ばした22周目にNo.15福住仁嶺選手（TEAM MUGEN）の前に出て、関口の後ろ、8位にまでポジションを回復。23周目には関口に道を譲られ、その後上位陣のピットインと自らオーバーテイクで順位を上げ、28周目にはトップのNo.1石浦選手から17.983秒遅れの2位となりました。平川はさらにプッシュして、トップとの差を詰めていきますが、39周を終えて2度目のピットに入ります。

その一方。関口はチームメイト平川を全力でサポートしていました。自身はまだピットに入っていないにも関わらず、タイヤ交換を終えて平川を追うNo.6松下選手やNo.3キャシディ選手をずっと抑えていたのです。38周目に抜かれるまで、消耗しきったソフトタイヤで頑張りぬきました。この関口の貢献によって、平川は2位を保ったままコースに復帰できたのです。平川を送り出したばかりのピットへ、ようやく関口も入りました。

コースに復帰した平川は、後続を寄せ付けぬ走りを見せて2位の座を守り切りチェッカー！ 9番手スタートから7つもポジションを上げての表彰台。チームとしてベストな結果を得るための果敢な戦略が功を奏したのです。関口は16位でのフィニッシュですが、チームに貢献してくれ、底力を見せてくれました。今回も皆様からの暖かく熱いお言葉が励みになっております。ありがとうございます。

第5戦を終え、ITOCHU ENEX TEAM IMPULのドライバーは、No.20平川亮がシリーズランキング4位、No.19関口雄飛が同5位につけました。今シーズンも残り2戦。タイトルを獲得するため、次戦の岡山大会も優勝を期しております。ご声援のほど、よろしくお願いします。

TEAM IMPUL Next Race Information

●全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦9/8（土）～9（日）岡山国際サーキット

●SUPER GT 第6戦 9/15（土）～16（日）スポーツランドSUGO

www.impul.co.jp @IMPUL_official IMPUL.official

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

2018 年 協賛会社様

TOYOTA

YOKOHAMA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

Mobil 1

カースタレンタカー

カースタ CARLIFE STADIUM

エネフリ

KYUSYUENERGY

homenex

carenex

eコト でんき!

ENKEI

NGK SPARK PLUGS

PUMA

Arai HELMET

JVCKENWOOD

METAL SURFACE TREATMENT WPC

Happiness in Your Life 広島トヨペット

KeePer COATING FOR SMART CAR LIFE

登戸石油

CHOOSE NanoTech High Performance Coating

ThreeBond

JUNACK

KiiVA ENERGY DRINK

SUGIZAKI transport

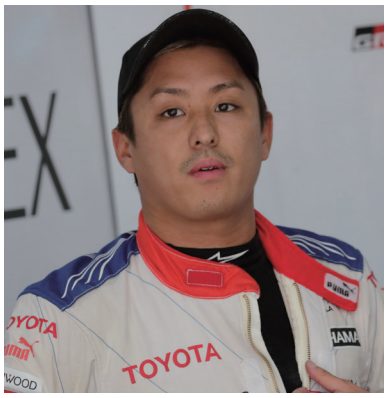
JIMPUL

ご支援 誠にありがとうございます。 敬称略・順不同

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

ドライバーからのコメント



No.19 関口 雄飛
Yuhi Sekiguchi

後方スタートから表彰台獲得を目標に
強い意思を持って決勝レースを戦いましたが
悲惨な1日となりました。
腐らず焦らず
柏木エンジニアと、自分達の感覚を信じ次に備えます！

No.20 平川 亮
Ryo Hirakawa

2ストップ作戦がうまく決まり、
途中からはトップを狙えるところまで行けました。
次は得意の岡山なので、このままの流れで優勝狙います
！引き続き応援よろしくお願いします！

SUPER FORMULA

ITOCHU ENEX CO.,LTD.

8/18（土）公式予選

天候：晴れ　コース：ドライ

気温／路面温度：Q1開始32℃／42℃

■ Qualifying　2018.8.18

Po	No	Driver	Team/Type	Q1	Q2	Q3
1	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'33.052	R 1'31.747	R 1'31.591
2	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M5S SF14 Honda HR-417E	1'33.045	R 1'31.677	R 1'31.642
3	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	DOCOMO DANDELION M6Y SF14 Honda HR-417E	1'32.298	R 1'31.799	R 1'31.761
4	64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'32.813	1'31.959	R 1'31.789
5	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'33.443	1'31.900	R 1'31.853
6	4	山下 健太 Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'33.412	1'31.891	1'32.142
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'33.032	1'31.960	1'32.258
8	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	1'33.439	1'31.986	1'32.413
9	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'32.751	1'32.033	
10	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'33.275	1'32.095	
11	7	トム・ディルマン Tom Dillmann	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'33.134	1'32.125	
12	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	1'33.130	1'32.282	
13	36	J.P.デ・オリベイラ J.P.de Oliveira	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'33.529	1'32.613	
14	15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	1'33.743	1'32.738	
15	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'33.773		
16	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'33.814		
17	37	ジェームス・ロシター James Rossiter	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'34.014		
18	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	B-Max Racing SF14 Honda HR-417E	1'34.279		
19	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'34.642		

車両：SF14 ／ タイヤ：ヨコハマ

R＝コースレコード（従来のコースレコード 1'31.888）

8/19（日）決勝

天候：曇り　コース：ドライ

気温／路面温度：30℃／42℃

決勝レース距離4.801km×52Laps=249.652km

■ Race　2018.8.19

Po	No	Driver	Car Name/Engine	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	52	1:24'19.998	177.63km/h		1'35.734
2	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	52	1:24'22.722	2.724	2.724	1'34.912
3	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	52	1:24'46.452	26.454	23.73	1'34.849
4	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	DOCOMO DANDELION M6Y SF14 Honda HR-417E	52	1:24'49.573	29.575	3.121	1'35.709
5	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	52	1:24'58.816	38.818	9.243	1'35.015
6	4	山下 健太 Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'01.641	41.643	2.825	1'36.359
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	52	1:25'03.616	43.618	1.975	1'36.068
8	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M5S SF14 Honda HR-417E	52	1:25'10.751	50.753	7.135	1'36.231
9	37	ジェームス・ロシター James Rossiter	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'12.037	52.039	1.286	1'36.766
10	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	REAL SF14 Honda HR-417E	52	1:25'24.528	1'04.530	12.491	1'36.076
11	64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	52	1:25'28.648	1'08.650	4.12	1'36.612
12	7	トム・ディルマン Tom Dillmann	UOMO SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'29.147	1'09.149	0.499	1'35.389
13	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'30.108	1'10.110	0.961	1'36.174
14	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	TCS NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-417E	52	1:25'30.995	1'10.997	0.887	1'35.223
15	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'39.078	1'19.080	8.083	1'35.731
16	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'39.673	1'19.675	0.595	1'36.704
17	15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	TEAM MUGEN SF14 Honda HR-417E	52	1:25'41.455	1'21.457	1.782	1'34.758
18	36	J.P.デ・オリベイラ J.P.de・Oliveira	VANTELIN KOWA TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	52	1:25'48.337	1'28.339	6.882	1'35.467
19	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	B-Max Racing SF14 Honda HR-417E	50	1:25'35.934	2Laps	2Laps	1'37.083

開始時刻： 14:18:57

車両：SF14 ／ タイヤ：ヨコハマ

RANKING

▪ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	3	ニック・キャシディ	2	-	8	11	6			27
2	16	山本 尚貴	11	-	10	1	2			24
3	1	石浦 宏明	5	-	0	8	11			24
4	20	平川 亮	0	1	0	5	8			14
5	19	関口 雄飛	8	-	0	3	0			11
6	36	中嶋 一貴	1	-	6	4	-			11
7	5	野尻 智紀	6	-	3	0	1			10
8	2	国本 雄資	0	-	0	6	0			6
9	8	大嶋 和也	0	-	0	2	4			6
10	6	松下 信治	0	-	0	0	5			5
11	7	トム・ディルマン	-	-	5	0	0			5
12	64	ナレイン・カーティケヤン	0	-	4	0	0			4
13	65	伊沢 拓也	4	-	0	0	0			4
14	4	山下 健太	0	0	1	0	3			4
15	18	小林 可夢偉	0	-	3	0	-			3
16	17	塚越 広大	3	-	0	0	0			3
	37	ジェームス･ロシター	0	-	0	0	0			0
	15	ダニエル・ティクトゥム	-	-	0	0	-			0
	18	中山 雄一	-	-	-	-	0			0
	50	千代 勝正	0	-	0	0	0			0
	7	ピエトロ・フィッティパルディ	0	-	-	-	-			0
	15	福住 仁嶺	0	-	-	-	0			0
	36	J.P.デ・オリベイラ	-	-	-	-	0			0
	15	阪口 晴南	-	-	-	-	-			-

▪ Team ranking

Po	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Total
1	KONDO RACING	2	0	9	10	9			30
2	JMS P.MU/CERUMO · INGING	5	-	0	14	10			29
3	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	8	-	0	8	8			24
4	TEAM MUGEN	10	-	10	1	2			23
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6	-	2	0	6			14
6	VANTELIN TEAM TOM'S	1	-	6	4	0			11
7	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS	0	-	5	2	4			11
8	TCS NAKAJIMA RACING	4	-	4	0	0			8
9	carrozzeria Team KCMG	0	-	3	0	0			3
10	REAL RACING	3	-	0	0	0			3
	B-Max Racing team	0	-	0	0	0			0